

子どもたちの主体性を伸ばすために言われたかった言葉

和田岡小学校の校長になって2年半が経過した。その間、私には本校を尋ねてきた来客に、本校の子どもたちを見た感想として、ぜひ言ってもらいたいある言葉があった。それは実は私のイメージする「新しい学校」の姿であり、反面、ある意味、従来の学校にはそぐわない言葉なのかもしれない。

ところが、先日、本校で行われた掛川市1班(原野谷学園・掛西学園・桜が丘学園)教頭研修会。授業公開後の協議において、何人かの教頭先生から私が言ってもらいたかった言葉が聞かれたのだ。

「和田岡小の子どもたちは自由気ままだけど、嫌な感じはせず、秩序が乱れているわけではない。よいバランスがとれている。」

「授業は自由な動きが多く、明るくにぎやかだが、話を聞く時はよく聞いている。友だちとの学び合いができる温かな雰囲気がある。」

そう。私が言ってもらいたかったのはズバリ「自由」という言葉だ。

今、子どもたちには予測困難な未来を生き抜いていく力として、主体的に学ぶ力が求められている。しかし、学校は実は主体性の育ちにくい場所だ。なぜなら学校には決まりごとが多く、子どもたちにはそれほど自由はないからだ。自由だからこそ主体性は発揮され、自己決定が求められる。だから主体的に学ぶ子を育成したいと言いながら、自由を与えないのは学校の罪だと私は考えていた。そういう意味で本校が自由な学校だと評されるようになったのは大きな進歩だと考えている。

令和6年度後期の教育活動が始まった。和田岡小では初等教育6年間を通じて育成すべき認知能力(テスト等において数値化できる能力)を「探究スキル」と呼び、論理的思考力、問題解決能力、読解表現力、創造力、コミュニケーション能力の5つに整理している。そして、育成すべき非認知能力(心に関わる数値では測りにくい能力)を「探究マインド」と呼び、こちらも意欲・好奇心、粘り強くやり抜く力、共感力、判断力、自信の5つに整理している。探究スキルと探究マインドは相互に深く関係しあっていて、どちらかが大事というものではない。探究マインドが伸びることで探究スキルは向上し、探究スキルを下支えにして、探究マインドも伸びていく。そして、私はこのマインドとスキルこそ、子どもたちが未来を生き抜いていくために必要な力そのものだと思っている。

右の写真は6月に実施した「福祉の日」の縦割りによる探究の一コマで、私の好きな写真だ。6年生のお膝の上で1年生が共に勉強している。こんなふうに学び方は自由でいい。和田岡小という自由な学びの場で、子どもたちが本当に大切なものを獲得していく、そんな後期にしていきたい。



【10月の予定】

日	曜	予 定
11	金	健康の日
15	火	和田岡今昔講座(6年) 第5回PTAあいさつ運動 ※9月下校パトロール対象の方
18	金	防犯教室(1・3・5年)
22	火	和田岡っ子アンケート
23	水	すくすくの会読み聞かせ
25	金	和田岡小防災の日 全校6時間授業
26	土	奉仕作業 ※27日予備日
30	水	ペア読書 放課後子ども教室(絵手紙3・4年)
31	木	移動図書館 2~6年生14:20下校(1年生は13:30下校)

【11月の予定】

1日(金)特別の日課3時間11:05下校
就学時健康診断
5日(火)PTA理事会・評議員会
8日(金)昔の遊び(1年)
11日(月)委員会
放課後子ども教室(座禅会)
12日(火)人権教室(1年)
13日(水)特別な日課3時間11:05下校
(5年生のみ14:30下校)
20日(水)すくすくの会読み聞かせ
放課後子ども教室(絵手紙5・6年)
22日(金)桜が丘中学校入学説明会(6年)
音楽交流会(6年)
28日(木)修学旅行1日目(6年)
移動図書館
29日(金)修学旅行2日目(6年)



村田吉隆様より図書を寄贈していただきました



三ヶ日自然教室(5年)



いただいた本で
読み聞かせを
しました



大根の種まき(2年)



稲刈り(5年)

地域学和田岡



放課後子ども教室(絵手紙1・2年)



和田岡古墳巡り(6年)



れんこんの収穫(3年)



ひまわり集会



このような日々の学校生活の様子を「eじゃん掛川」で毎日紹介しています。『eじゃん掛川和田岡小学校』と検索していただくか、QRコードから見るすることができます。

